

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育委員					款 07	項 04	目 01	事業 001	整理番号	489
現担当課名	生涯学習推進課					係名 管理係	連絡先 1665	昨年度 整理番号	499		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度		分野 07	施策 25	計画事業						
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般				

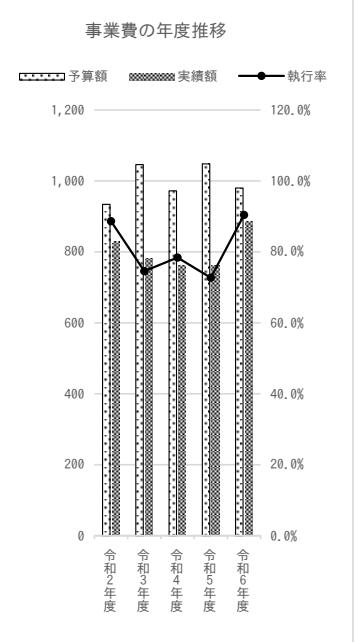
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 社会教育法第15~18条 杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、 諸問に応じた答申や、調査・研究とともに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	会議開催回数		回	6	6	6	6	6	6	6	6
	会議出席委員数	延べ	人	5	5	54	54	54	54	54	54
成果指標	N P O 法人認証団体数	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるN P O 法人認証団体数	団体	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	分類 社会成果（課題）指標			350	350	350	350	350	350	350	350
	分類			312	305	302	302	302	302	302	302
				77.8%	75.9%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			千円	予算額	934	1,046	972	1,048	980	1,142
			実績額	828	780	762	762	886	-	
常勤職員分(再任用含)	上記以外の職員		千円	執行率	88.7%	74.6%	78.4%	72.7%	90.4%	-
			千円	予算額	12,205	9,519	9,471	4,991	6,697	6,845
			千円	実績額	10,204	9,471	9,474	6,529	6,845	-
総事業費(事業費+人件費)			千円	執行率	83.6%	99.5%	100.0%	130.8%	102.2%	-
			千円	予算額	2,464	2,902	3,308	3,310	2,665	3,250
			千円	実績額	2,540	3,308	3,310	3,426	3,250	-
受益者負担分①	国・都からの補助金②	その他の補助金等③	千円	執行率	103.1%	114.0%	100.1%	103.5%	122.0%	-
			千円	予算額	15,603	13,467	13,751	9,349	10,342	11,237
			千円	実績額	13,572	13,559	13,546	10,717	10,981	-
特定財源(①+②+③)			千円	執行率	87.0%	100.7%	98.5%	114.6%	106.2%	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
差引：一般財源(総事業費-特定財源)			千円	執行率	87.0%	100.7%	98.5%	114.6%	106.2%	-



特記事項
会議開催数及び出席者数の実績により、令和6年度は事業費の増となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	社会教育委員報酬の支出（延べ人数）	47	人	577
	社会教育委員の会議総作成委託	11	時間	270
	その他（ 資料等の郵送、消耗品の購入 )	39		

取組成果	区内の社会教育活動の向上、活性化を図るため、社会教育委員の会議を開催しました。第18期社会教育委員の任期は、令和5年6月10日から令和7年6月9日までです。令和6年度は、例年どおり、社会教育法に基づく社会教育関係団体に対する補助金交付について意見を述べるほか、社会教育活動や「社会教育士」等について議論しました。また、国指定史跡「荻外荘（近衛文麿旧宅）」を訪れ、区内の新たな生涯学習施設の整備状況を視察しました。
------	--

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	「社会教育」とは、学校教育法に基づき、学校の教育課程をして行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動です。「学び」は子どものためにあるだけではなく、個人の成長や豊かな地域づくりに向けて、大人にとっても大切なものです。制度整備以来、社会教育委員の会議では、社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べるほか、教育委員会からの諮詢に応じて答申や提言を出すなど、社会状況や地域課題を踏まえながら、子どもから大人まで区民誰もが生涯にわたり主体的に学び続けることができるよう、社会教育の振興を図るために方向性や方策について協議してきました。今後も、社会教育委員が渝って出席できる会議設定や運営方法等を工夫し、活発な議論を行うことで、区民一人ひとりの学びや豊かな社会教育活動への支援につながるよう、会議を開催していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	第18期は、任期中最後の会議を5月に開催し、2年間の協議をまとめた「社会教育活動が地域に広がるために」を発行しました。6月からは、任期満了に伴う改選で、第19期がスタートしました。第19期は年度末までに5回の会議を予定しており、社会教育委員の会議としては、計画どおり全6回開催する見通しです。予算についても概ね計画どおりに執行する見込みです。
事業の方向性・改善策	第19期も、各委員が社会教育に関する意見や問題意識などを出し合い、活発に議論が行われることで、区民の学びを支援し社会教育の振興が図れるよう、議長と連携しながら有意義な会議となるよう努めていきます。

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	附属機関の会議開催に係る必要経費として現状を維持します。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	社会教育委員の会議では十分な議論が行われているため、今後も同規模で行っています。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育の振興					款 07	項 04	目 01	事業 003	整理番号	490
現担当課名	生涯学習推進課					係名 管理係	連絡先	1665	昨年度 整理番号	500	
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成8年度	実行計画事業	分野 07	施策 25	計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般				

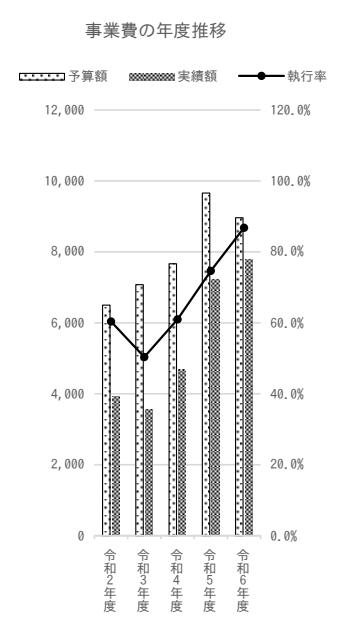
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○地域での学びを支援する社会教育士を育成する。 ○教育委員会後援等名義使用承認により、社会教育関係団体の活動を支援する。 ○区と区内高等教育機関（明治・高千穂・女子美術・東京立正・東京女子）との包括協定に基づき、連携協働を推進する。 ○生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。 ○交流自治体である北海道名寄市に小学5・6年生を派遣するほか、天文台車を招き観望会を開催する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入する指導者数	人	計画	4,000	4,000	4,000	4,000			
			実績	2,816	2,995	2,839	-			
			達成率	70.4%	74.9%	71.0%	-			
区内大学との連携協働推進協議会等開催回数	区内大学との連携協働推進協議会等の開催回数	件	計画	5	5	5	5			
			実績	1	2	4	-			
			達成率	20.0%	40.0%	80.0%	-			
生涯学習活動の指導者傷害保険加入団体会員数	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入する団体の会員数	人	計画	70,000	70,000	70,000	70,000			
			実績	52,076	51,542	48,989	-			
			達成率	74.4%	73.6%	70.0%	-			
教育委員会後援等名義使用承認事業数	教育委員会後援等名義使用について承認した事業数	件	計画	150	150	150	150			
			実績	100	113	115	-			
			達成率	66.7%	75.3%	76.7%	-			
分類 行政サービス成果指標										

事業費	単位 千円	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		予算額	6,499	7,075	7,665	9,658	8,962	9,349
		実績額	3,924	3,563	4,674	7,209	7,779	-
人件費	常勤職員分(再任用含)	執行率	60.4%	50.4%	61.0%	74.6%	86.8%	-
		予算額	16,564	14,946	15,513	20,795	20,928	21,390
		実績額	14,455	15,013	16,635	22,183	21,647	-
上記以外の職員	千円	執行率	87.3%	100.4%	107.2%	106.7%	103.4%	-
		予算額	2,772	2,902	2,940	2,942	3,426	4,179
		実績額	3,628	2,940	2,942	3,046	4,179	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	執行率	130.9%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-
		予算額	25,835	24,923	26,118	33,395	33,316	34,918
		実績額	22,007	21,516	24,251	32,438	33,605	-
財源	受益者負担分 ①	執行率	85.2%	86.3%	92.9%	97.1%	100.9%	-
		予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
国・都からの補助金 ②	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
その他の補助金等 ③	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	執行率	85.2%	86.3%	92.9%	97.1%	100.9%	-
		予算額	25,835	24,923	26,118	33,395	33,316	34,918
		実績額	22,007	21,516	24,251	32,438	33,605	-



## 特記事項

事業費の執行残の主な理由は、小学生名寄自然体験交流における航空機運賃早割利用による経費削減等によるもの及び天文学習会における名寄市からの望遠鏡技師派遣のための航空機運賃早割利用及び、移動式天文台車駐車場使用料の経費等削減によるものです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	社会教育士の資格取得者	3	人	66
	小学生名寄自然体験交流の児童派遣	25	人	4,685
	移動式天文台車による観望会等開催	4,374	人	1,529
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	2,839	人	590
	その他 ( 通知等の郵送、消耗品の購入ほか )			909

取組成果	社会教育士の育成では、教育委員会事務局職員3人が必要な講習を受講しました。それにより、これまでに資格を取得した職員は計13人となりました。 小学生名寄自然体験交流は、真冬の名寄市だからこそ得られる体験や現地の子どもたちとの交流を通じて、児童の探求心や豊かな人間性を育みました。 名寄市から移動式天文台車を招いて開催する観望会及び天文講座は、区内の小学校等で延べ12回開催し、定員を大きく上回る応募の中、実施方法を工夫して多くの区民に体験の機会を提供することができました。 区内高等教育機関との包括協定に基づき設置する協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響により途絶えていた情報誌「すぎ☆キャン」の発行を再開することとし、令和6年度に作成した第7号は、区内5大学を小・中学生に紹介する内容として、児童・生徒のタブレット端末へ配信しました。

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	社会教育士の資格を有する職員は着実に増えています。社会教育士のスキルは様々な分野に通じるものであるため、教育委員会内にとどまらず福祉、防災、環境等の分野への広がりを引き続き推進していくとともに、地域の社会教育士を含めた社会教育人材のネットワーク化を進めることができます。 小学生名寄自然体験交流は、学習成果発表会や所属校での発表を通して自らの経験を広く伝える取組を行っていますが、過去の参加児童が学習支援者として次年度以降の事業に関わるなど、世代間をつなぐ継続的な関わりの仕組みについても、検討の上具体化することが求められています。 指導者傷害保険は、加入団体の会員数や指導者数が高齢化等により減少傾向が続いている。本事業が区民の生涯学習活動の支えとなり、安心安全な活動につながるよう、多くの団体へ情報提供ができる効果的な周知が必要です。 区内高等教育機関との包括協定に基づき設置する協議会では、区と参加機関である区内5大学による区民の生涯学習に寄与する取り組みが進むよう、定期的に会議を開催し、連携協働に資する情報交換や話し合いを継続していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	社会教育士の育成については、教育委員会事務局職員1名が講習を受講しています。 小学生名寄自然体験交流事業は、10月末に結団式を行い、事前学習を経て12月26日から28日にかけて名寄市を訪問した後、2月に成果発表会を予定しています。 指導者傷害保険の加入者は、7月末時点で2,983人と、前年度と横ばいの傾向にあります。引き続き、団体等に向けた周知を進めていく必要があります。 区内大学等の連携協働事業では、8月末までに協議会を2回開催するとともに、協議会発行の「すぎ☆キャン」を学生参画で作成する取組を進めています。 なお、令和7年度の予算については、概ね順調に執行しています。
事業の方向性・改善策	区民の生涯学習を支えるため、今後も職員の社会教育士資格取得を進めるとともに、社会教育実習を希望する学生区民の受け入れ等を行います。 小学生名寄自然体験交流事業は、子どもたちの学びを深められるよう、引率の先生方や名寄市の協力を得て事前学習会や派遣中のプログラムを充実させていきます。また、学習成果を広く伝える取組を継続するとともに、過去の参加児童が学習指導者として関わる仕組みづくりを進め、世代をつなぐ継続的な事業運営に努めています。 区内大学等との連携協働事業では、主に協議会の開催を通じて活発に情報交換を行うほか、各課が実施する事業や取組等を広く周知することで、連携や協働が円滑に行える関係性の構築に努めています。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	社会教育士の育成は、職員の資格取得や研修に係る経費を計上します。 小学生名寄自然体験交流事業及び区内大学との連携協働は現状予算で、各校の取組や活動状況等を見ながら、適正な規模で事業を実施していきます。 指導者傷害保険は現状予算で、周知方法を工夫していきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	いずれの事業も計画どおり実施できており、十分な効果が見られるため、今後も現行の規模で対応を進めています。

## 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	地域教育力の向上					款 07	項 04	目 01	事業 006	整理番号	493	
現担当課名	学校支援課					係名	家庭・地域教育担当		連絡先	1691	昨年度 整理番号	503
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度	実行計画事業	分野	07	施策	25	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	学校支援課					事業評価区分	一般					

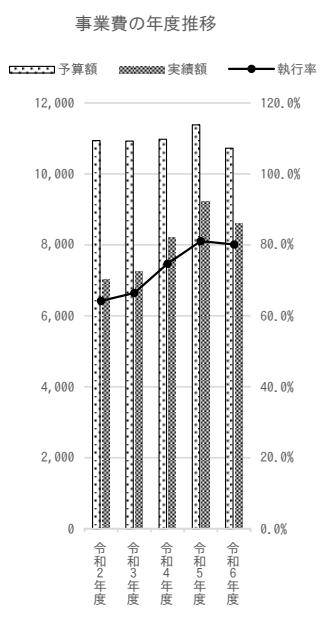
### 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 保護者及び地域住民等	地域教育連絡協議会共催分担金支給要綱 杉並区地域教育推進協議会共催分担金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○青少年教育の振興のため、家庭・地域・学校の連携の場を創出する。 ○保護者等が家庭教育講座を通して子どもの成長への理解を深め、教育に関する課題を共有し、家庭の教育力を高めていく場を創出する。	○中学校区を中心に組織された地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会において、懇談事業や子ども地域活動促進事業等を実施する。さらに、事務局を担う青年少年委員に対して、必要とする知識の習得と情報の共有を図る研修会等を実施する。 ○子育てで感じる課題等をテーマに家庭教育講座を開催するとともに、保護者等が自ら企画運営する家庭教育講座の開催を支援する。また、講座企画者や子育て支援者等の連携を図るために家庭教育フォーラムを開催する。

### 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会開催事業回数	中学校区地域を主体とした活動量	回	計画 実績 達成率	83 196 236.1%	83 260 313.3%	103 124 120.4%
	家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの開催回数		回	計画 実績 達成率	21 8 38.1%	21 9 42.9%	18 13 72.2%
	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会開催事業への参加者	中学校区地域を主体とした活動への区民参加意欲の涵養	人	計画 実績 達成率	19,500 12,321 63.2%	19,500 17,660 90.6%	19,500 19,300 99.0%
成果指標	分類   社会成果（課題）指標		人	計画 実績 達成率	1,590 380 23.9%	1,590 500 31.4%	1,590 551 34.7%
	家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの参加人数	保護者等を対象とした学習機会への区民参加意欲の涵養	人				
	分類   社会成果（課題）指標						

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	千円	予算額 実績額 執行率	10,939 7,023 64.2%	10,926 7,259 66.4%	10,977 8,198 74.7%	11,382 9,227 81.1%	10,725 8,591 80.1%
人件費	常勤職員分 (再任用含)	予算額 実績額 執行率	17,436 18,196 104.4%	17,006 18,605 109.4%	16,686 18,716 112.2%	16,636 21,597 129.8%	25,113 28,834 114.8%
		予算額 実績額 執行率	3,080 3,628 117.8%	3,628 3,675 101.3%	3,675 3,678 100.1%	3,807 4,643 103.5%	4,643 4,643 122.0%
総事業費 (事業費+人件費)	上記以外の職員	予算額 実績額 執行率	31,455 28,847 91.7%	31,560 29,539 93.6%	31,338 30,592 97.6%	31,696 34,631 109.3%	39,645 42,068 106.1%
		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
財源	受益者負担分 ①	予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	国・都からの補助金 ②	予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	その他の補助金等 ③	予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	特定財源 (①+②+③)	予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		予算額 実績額 執行率	31,455 28,847 91.7%	31,560 29,539 93.6%	31,338 30,592 97.6%	31,696 34,631 109.3%	39,645 42,068 106.1%
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額 実績額 執行率	31,455 28,847 91.7%	31,560 29,539 93.6%	31,338 30,592 97.6%	31,696 34,631 109.3%	39,645 42,068 106.1%



### 特記事項

事業費の残は、青少年委員の人数が予定より減ったことに伴う報酬支払の減、家庭教育講座開催時に支援する分担金支出の減等に伴うものです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	青少年委員報酬の支出	40	人	3,840
	地域教育連絡協議会開催のための分担金の支出	18	校区	888
	地域教育推進協議会開催のための分担金の支出	4	地区	1,889
	家庭教育講座（主催・共催）の開催	12	回	1,210
	その他（運営事務費（通信費、消耗品の購入ほか）の支出）			764

取組成果	家庭・地域・学校をつなぐパイプ役として、青少年委員を中学校区の地域ごとにおおむね2名、合計40名を配置しました。地域の教育力を高め、子どもたちの生きる力を育んでいく青少年委員が事務局を担う地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会について、分担金の支給のほか、活動への助言や情報提供など必要な支援を行いました。 また、家庭における教育力向上を支えるため、家庭教育講座を12回開催しました。さらに、コロナ禍の影響で、地域で講座を開催する団体が減少したことにより開催を見送っていた「家庭教育フォーラム」を「家庭教育を学び合う会」として4年ぶりに開催しました。
------	---

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	青少年委員の活動は、地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会の事務局に加えて、青少年育成委員会や児童館事業等へも広がっており、他組織の委員を担うことも多く、委員個人の負担が増えていることやそれらの場面での役割が不明確になってしまうという課題を抱えています。青少年委員の欠員地域が増えている中で、持続可能な青少年委員制度について、青少年委員の意見を聴取し、地域と学校をつなぐ新しい制度への移行に向けた協議を行っていく必要があります。 より多くの方に家庭教育講座へご参加いただきため、開催日時や周知方法に工夫を重ね、保護者の関心が高いテーマを適切に設定することが求められています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会への共催分担金支給のほか、運営委員会等へ職員が出席し、各地域の多様な団体が情報共有を行う懇談会や子どもたちの地域活動を促進する事業に対し、助言や支援を行っています。また、青少年委員の活動を支えるため、教育委員会主催の定例会議や研修を実施しています。さらに、8月には青少年委員に対するヒアリングを行い、持続可能でより良い青少年委員活動について、青少年委員と教育委員会がともに考える機会としました。 家庭教育は、区公式ホームページに家庭教育講座に関するアンケートフォームを新たに掲載し、保護者の意見を取り入れながら、教育委員会主催として3回の講座を開催する予定です。地域団体主催の講座は、現時点では3団体に共催を承認し、分担金支給や講座の周知に係る支援を行っています。各団体との情報交換や講座開催の振り返りを行つた後、「家庭教育を学び合う会（家庭教育フォーラム）」の実施を予定しています。 予算については、概ね順調に執行しております。
事業の方向性・改善策	青少年委員は、個々の活動における悩みの共有や情報交換の場としての定例会議と、モチベーション及び資質の向上に資する研修を引き続き実施します。あわせて、欠員（定員47名に対して40名：令和7年8月1日現在）の実態をふまえ、青少年委員の役割やあり方の見直しを進める中で、地域教育推進協議会や学校支援本部等の地域の多様な主体が連携し、地域全体で子どもの育成や教育に関わる課題を解決するためのより効果的な体制づくりについても整理し、検討を進めます。 家庭教育は、教育委員会主催の家庭教育講座及び家庭教育情報の発信により、誰もが気軽に学ぶことができる環境を整備し、子育てとともに考える仲間や新しい視点を得るために機会を提供します。また、地域団体等が、その地域に即した講座を自らの力で開催できるように、共催分担金支給等の支援を行います。

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
II. 事業の改善の方向性の理由	青少年委員制度のあり方の見直しを進める中で、青少年委員が事務局を務める地域教育推進協議会をはじめとした地域の多様な主体の役割を整理し、地域が一体となって子どもたちの育ちを支えるため、より効果的な体制の検討を進めます。 家庭教育については、情報が身近にあふれている一方、悩みや不安を誰かと共有したり、新たな視点や気づきを得たりといった機会が限られているため、保護者を取り巻く環境の変化に合わせて、よりアクセスしやすく効果的な方法を検討し、家庭教育講座の開催や家庭教育情報の発信に取り組みます。また、地域団体等が自ら講座を企画・運営するために必要な支援を行ふとともに、団体同士が情報共有し、連携を図るための場として、家庭教育フォーラムを実施します。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	次世代型科学教育の推進					款 07	項 04	目 01	事業 014	整理番号	496	
現担当課名	生涯学習推進課					係名	社会教育センター		連絡先	4712	昨年度 整理番号	506
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成27年度	実行計画事業	分野	07	施策	25	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般					

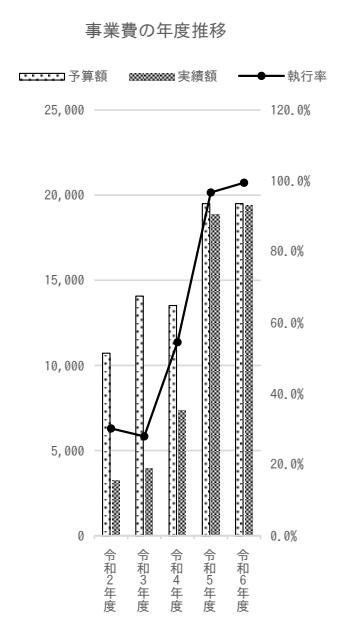
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 教育基本法第12条
区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。 ○交流自治体や区民、N P O、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。 ○I C Tやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	○移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。 ○最新の科学にふれる展示会や、「区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。 ○科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	科学講座等開催回数	委託事業における科学講座・科学展示等の開催回数	回	計画	25	52	48	48
				実績	45	48	48	-
				達成率	180.0%	92.3%	100.0%	-
成果指標	サイエンスフェスタの出展団体数	委託事業のうち科学講座、科学展示等の参加者数	団体	計画	26	26	26	26
				実績	17	17	28	-
				達成率	65.4%	65.4%	107.7%	-
成果指標	科学講座等参加者数	委託事業のうち科学講座、科学展示等の参加者数	人	計画	1,800	1,800	7,000	6,000
	分類 行政サービス成果指標			実績	5,895	7,467	5,803	-
	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数			達成率	327.5%	414.8%	82.9%	-
成果指標	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数	人	計画	1,500	1,500	1,500	1,500
	分類 行政サービス成果指標			実績	1,110	1,555	1,307	-
				達成率	74.0%	103.7%	87.1%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	10,716	14,070	13,516	19,500	19,500	19,500
		実績額	3,240	3,940	7,374	18,865	19,401	-
		執行率	30.2%	28.0%	54.6%	96.7%	99.5%	-
人件費	千円	予算額	16,564	12,755	12,515	12,473	14,400	14,022
		実績額	16,156	12,515	14,557	13,839	14,175	-
		執行率	97.5%	98.1%	116.3%	111.0%	98.4%	-
上記以外の職員	千円	予算額	6,468	6,530	6,615	6,620	6,853	9,750
		実績額	7,619	5,513	5,517	6,472	8,125	-
		執行率	117.8%	84.4%	83.4%	97.8%	118.6%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	33,748	33,355	32,646	38,593	40,753	43,272
		実績額	27,015	21,968	27,448	39,176	41,701	-
		執行率	80.0%	65.9%	84.1%	101.5%	102.3%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	33,748	33,355	32,646	38,593	40,753	43,272
		実績額	27,015	21,968	27,448	39,176	41,701	-
		執行率	80.0%	65.9%	84.1%	101.5%	102.3%	-



## 特記事項

成果指標「すぎなみサイエンスフェスタの参加者数」は新型コロナウイルス感染症前の実施規模に戻したことから、オンライン開催を実施しませんでした。そのため、昨年度の成果指標「すぎなみサイエンスフェスタにおける会場及びオンライン参加者の合計数」から修正しています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	科学講座等業務委託	5,803	人	16,500
	サイエンスフェスタの実施	1,307	人	2,901
	その他 ( )			0

取組成果	区民が身近に利用できる地域の施設で行う出前型の科学講座等の事業を、科学体験施設「IMAGINUS(イマジナス)」の運営事業者と協議・調整を行いながらその専門性を活かして実施しました。移動式プラネットarium事業は児童館や子ども育てプラザなど区立施設を巡回して実施し、ワークショップは科学に親しむ機会を増やすため、区民センター祭り等の地域の大きなイベントへ出向いて開催しました。 また、夏休みの連続講座では、解剖実習コースを設けるなど学校教育では体験できない学びを提供したほか、科学展示では、来場者が主体的に学ぶことができるよう「スポーツを科学する」「光の竜宮城からのメッセージ」といった参加型・体験型展示を開催しました。このほか、令和7年3月に開催したサイエンスフェスタでは1,300人を超える参加者が来場し、科学に親しみました。
------	---

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	令和6年度科学教育事業における来場者数は前年度比で約20%減少しました。主な要因として、区立小学校への周知方法が従前のチラシ配布から、タブレット配信に切り替ったことによって小中学生への周知が十分に進まなかつたことが考えられます。今後、科学の裾野を広げるという目標の達成のためには、周知方法を見直しながら、特定の年齢層に限定せず、未就学児から高齢者まで多様な世代の参加を促進する多角的なアプローチが必要です。これには、企画内容や広報活動の強化をしていく必要があります。 サイエンスフェスタでは28団体32ブースが出店し、地域の科学団体間の連携強化に大きく貢献しました。今後は、サイエンスフェスタのプログラムを充実させることに加え、地域で活動する科学団体そのものを増やしていくことが重要です。そのためには、区、科学団体およびイマジナス運営事業者の三者が緊密に連携し、新たな人材の発掘と育成に注力していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	イマジナスで夏休みに開催した小学生、中学生向け連続講座は対象を小学校3、4年生まで拡大し、7日間で延べ566名が参加し、科学への興味関心引き出しました。5月から開催している天文講座は、8月末時点で6日間25回開催し、延べ572名が参加しました。また新たな取組として、9月には科学教育団体と協働し、セッション杉並まつりで中高生を中心とした、こどもサイエンスワークショップを開催しました。 科学講座等の内容は区とイマジナス運営事業者が連携して多様な世代が参加しやすい企画となるよう工夫を重ねた結果、さまざまな世代が参加しています。引き続きイマジナス運営事業者と連携を図りながら、区民に魅力ある科学講座等を提供できるよう努め、計画どおり実施していきます。なお、サイエンスフェスタは令和8年3月に実施を予定しています。 令和7年度の事業は予算内にて遂行可能の見込みです。
事業の方向性・改善策	イマジナス運営事業者や科学団体等と引き続き連携を図りながら次世代型科学事業を推進し、多くの区民に科学に対する広範で多様な興味関心を引き出していくきます。また、講座内容の見直し等を進め、令和6年度に比べ、各事業の申込者数、参加者数ともに、増加傾向にあります。引き続き多くの区民の参加が得られるよう、企画内容の充実や広報活動の拡充等を行っていきます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	その他
I. 事業コストの方向性の理由	人件費や物価の高騰等により、今後令和7年度と同規模の委託事業を実施することは現状の予算規模では困難な状況が見込まれます。各事業の実施結果をよく分析・検証して、より効果的・効率的な事業執行や施設の有効活用が図れるよう運営事業者との連携を進めます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	科学講座等委託事業の規模の変更はありませんが、実施内容・実施方法の具体化には、運営事業者と密な連携のもとに進めます。また、イマジナスは、区内の身近な地域の施設における各種プログラムの実施を通して科学の学びの裾野を広げていますが、その専門性のより効果的な活用の一つとして、学校教育分野における連携の可能性についても担当課と調整の上、検討していきます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育事業の運営					款 07	項 04	目 01	事業 015	整理番号	497	
現担当課名	生涯学習推進課					係名	社会教育センター		連絡先	4712	昨年度 整理番号	507
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	分野	07	施策	25	計画事業	02	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般					

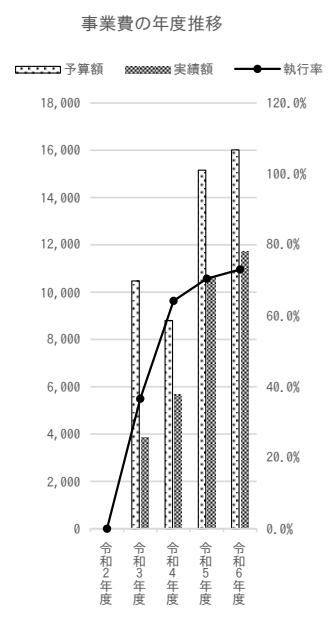
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 社会教育法第3条、第5条及び第13条 杉並区立社会教育センター条例 ほか
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○各種の社会教育学級、講座、展示会その他の社会教育事業を実施する。 ◦ 成人学習（すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等） ◦ 社会教育団体協働事業（杉並区文化団体連合会、杉並区総合文化祭、大学公開講座、ユネスコ活動事業） ◦ 社会参加支援（済美教室、ほんご教室） ◦ 社会教育士の活用

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	成人学習支援事業における実施講座数	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援のために実施する講座数	講座	4	4	4	4	-	-	-	-
	社会教育団体協働事業における実施講座数	大学公開講座、ユネスコ活動の講座数	講座	36	36	36	36	36	36	36	36
	成人学習支援事業における延べ参加者数	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援事業への延べ参加者数	人	400	400	700	700	700	700	700	700
成果指標	分類 行政サービス成果指標			514	904	731	731	-	-	-	-
	社会参加支援事業における延べ参加者数	社会参加支援事業における延べ参加者数	人	900	900	1,400	1,400	2,100	2,100	2,100	2,100
	分類 行政サービス成果指標			595	1,360	2,058	2,058	-	-	-	-

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	0	10,475	8,803	15,159	16,016	14,386						
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額	0	42,515	43,384	50,735	45,722	52,073					
	上記以外の職員	予算額	0	42,378	50,074	47,677	49,504	-					
総事業費	(事業費+人件費)	予算額	-	99.7%	115.4%	94.0%	108.3%	-					
財源	受益者負担分①	予算額	0	15,238	15,435	15,448	15,228	21,126					
	国・都からの補助金②	予算額	0	0	0	0	0	-					
	その他の補助金等③	予算額	0	0	0	0	0	-					
	特定財源(①+②+③)	予算額	0	0	0	0	0	-					
	差引：一般財源(総事業費-特定財源)	予算額	0	68,228	67,622	81,342	76,966	87,585					
		実績額	0	62,754	72,278	72,828	80,102	-					
		執行率	-	92.0%	106.9%	89.5%	104.1%	-					



## 特記事項

社会参加支援事業の済美教室でボランティアが十分に確保できなかったことや課外活動バス賃借料の残等、済美教室の運営費で執行残が多く生じました。

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	成人学習（すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等）	4	講座	3,183
	社会教育団体協働事業（文化団体連合会補助、区内5大学公開講座等）	4	事業	5,430
	社会参加支援（済美教室12回、にほんご教室3期計140回）	2	事業	1,272
	社会教育士の活用（学び合いのワークショップ2回、スキルアップ講座2回）	2	事業	828
	その他（社会教育事業運営のための消耗品等の購入）			988
取組成果	成人学習事業では、すぎなみ大人塾3コースの実施により受講生の自主的な活動につなげるとともに、令和5年度に引き続き、「若者が地域活動へ参画することを促すために30歳以下の区民が企画運営する事業(すぎなみU30ミーティング「みんなの大運動会」)を開催しました。社会教育団体協働事業では、各団体の自主的な活動を支援し、区との協働事業を実施することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動への参加促進を図りました。社会参加支援事業では、杉並で暮らす外国人に対して、「にほんご教室」を地域の団体と共に実施することで、知的障害のある区民に対しては「済美教室」を実施して、地域で自立して日常生活を送ることができるよう、学習支援を行いました。このうち「にほんご教室」は受講希望者が大きく増加したため、円滑な事業運営ができるよう増員分の別会場を確保して行うなど団体と協力して対応しました。社会教育士の活用事業では、ワークショップと講座を2回ずつ行い、社会教育士等の活動を豊かにする機会を作りました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	成人学習事業は、区民の方々が主体的な学びをきっかけに地域参画していくために、どのような支援が効果的なのか、引き続き検討を進めています。また、これまで情報を届けられなかつた層への周知方法の検討とともに、地域参画を意識した方々がより参加しやすい環境の提供、講座設定の検討も進めています。社会教育団体協働事業は、団体の自主性を尊重しながらも、区民ニーズを捉えた事業を開催できるよう、適切な情報や場所の提供等の支援を行っていく必要があります。区民からどのようなニーズがあるのか、どのような点に配慮が必要なのかなど、共催者という立場から、団体とよく相談して団体に対して適切な働きかけを続けていくことが重要です。社会参加支援（済美教室・にほんご教室）事業は、参加者が安心して講座に参加できるよう運営し、参加者にとって学びの多い講座となるよう、内容を検討する必要があります。済美教室は、参加者だけでなく、講座開催を支援するボランティアによる社会参加や社会教育の機会として重要な意味を持ちます。杉並区在住の外国人が増加傾向にあるため、受講希望者が増えています。受講希望者に日本語を学ぶ機会を提供できるよう、共催団体と協力しながら対応していくことが大切です。社会教育士の活用事業は、区内の社会教育士や社会教育士に類する人のつながりをつくるきっかけができるましたが、より多くの方に社会教育士について関心を持つもらったり、つながりをさらに広げていく取組が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	成人学習支援事業では、4講座で計252名の申し込みがあり、昨年度に比べ受講希望者が増加傾向にあります。杉並ユネスコ協会や杉並区文化団体連合会等の社会教育関係団体とは、共催事業等を円滑に実施できるよう緊密な連携を図りました。社会参加支援事業である済美教室は、参加者やボランティアが活動の中で学びを得られるよう、講師と密に連絡を取って講座を計画しながら実施し、にほんご教室は、昨年度に続いてオンラインと対面で実施するなど、受講生・参加者等のニーズに対応して事業を実施しています。社会教育士の活用を進める事業には、様々な分野・世代の参加があり、新たな参加者の掘り起こしにつなげることができます。令和7年度は予算内で執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	成人学習事業は、昨年度と同じ構成で開催していますが、学習ニーズや参加者の声を把握しながら、今後の4講座のプログラムや地域展開のあり方等の検討を進めます。社会教育団体協働事業や社会参加支援事業は、団体の自主性を尊重しながら、実施上の課題等について団体と密に連絡を取って講座を計画しながら実施し、にほんご教室は、昨年度に続いてオンラインと対面で実施するなど、受講生・参加者等のニーズに対応して事業を実施しています。社会教育士の活用は、学び合いのワークショップとスキルアップ講座実施の中で、この取組が地域に広がるような仕掛けを施しています。また、新たな社会教育活動の支援は、下半期の実施に向けて具体化を進めています。

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	増大する区民の多様な学習ニーズに的確に応えていくため、各種社会教育事業について、地域団体や学習支援団体との意見交換・懇談を行いつつ、精力的に事業内容や実施方法等の見直し・改善を進め、現状のコストで事業展開につなげているところです。「杉並区教育ビジョン2022推進計画」の基本方針の一つである「一人ひとりの生きがいにつながる生涯にわたる学びを支援」するために、令和7年度の事業規模を維持しつつ事業実績・事業効果をよく検証して引き続き事業内容、実施方法、周知方法等の改善に努めます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	にほんご教室は、受講希望者が増大していること、今般、杉並区多文化共生基本方針が策定されたことから、共催団体と意見交換を進めながら、事業内容の改善・充実を図ります。また、身近な地域での学びや、人々のつながりをつくるために、社会教育士等のネットワークを発展させることや、地域に出向いた伴走型の相談支援を進めるなど、社会教育活動を地域に広げるための取組を拡充します。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育センター維持管理					款 07	項 04	目 02	事業 001	整理番号	498	
現担当課名	生涯学習推進課					係名	社会教育センター		連絡先	4712	昨年度 整理番号	508
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度		分野	07	施策	25	計画事業					
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	施設維持管理					

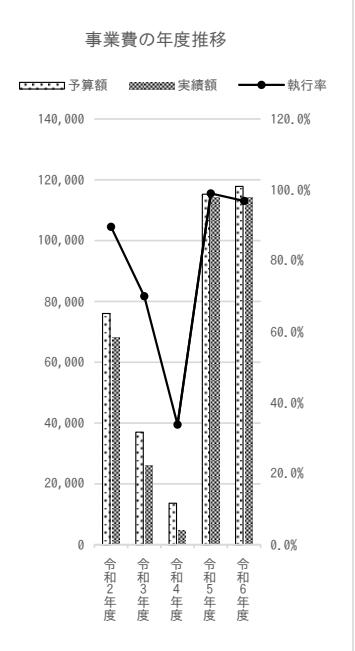
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 社会教育法第3、5条 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)  ○区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	76,033	37,012	13,639	115,251	117,835	123,483
		実績額	68,127	25,920	4,617	114,115	114,180	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	予算額	10,490	8,635	3,327	3,327	3,374	4,017
		実績額	7,529	8,997	3,327	3,181	7,062	-
		執行率	71.8%	104.2%	99.7%	95.6%	209.3%	-
上記以外の職員	予算額	0	0	0	0	0	1,625	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
(事業費+人件費)	予算額	86,523	45,647	16,976	118,578	121,209	129,125	
		実績額	75,656	34,917	7,944	117,296	121,242	-
		執行率	87.4%	76.5%	46.8%	98.9%	100.0%	-
財源	受益者負担分 ①	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
国・都からの 補助金 ②	予算額	0	0	0	0	0	-	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
その他の 補助金等 ③	予算額	0	0	0	0	0	-	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	予算額	0	0	0	0	0	-	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	86,523	45,647	16,976	118,578	121,209	129,125	
		実績額	75,656	34,917	7,944	117,296	121,242	-
		執行率	87.4%	76.5%	46.8%	98.9%	100.0%	-



## 特記事項

令和3年12月1日から始まったセシオン杉並の大規模改修工事が令和5年5月10日に竣工し、同年8月1日にリニューアルオープンしましたが、セシオン杉並の運営が指定管理者によって行われることになったため、令和5年度から指定管理料を予算計上しています。その結果、令和5年度から事業費が大幅増となっていきます。

	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
主な取組	セシオン杉並の管理運営(指定管理)			111,573
	施設・敷地の適正な維持管理			1,564
	その他（印刷機賃貸借等）		)	1,043
取組成果	令和5年8月1日にリニューアルオープンしたセシオン杉並の適正な管理運営に向けて、毎月1回指定管理者と杉並区(社会教育センター、高円寺地域区民センター、高円寺区民事務所)の間で、定例の会議を開催し、施設の利用状況の情報共有や管理運営に関する課題等の情報交換を行いました。この定例の会議や施設の一年目点検等で出された施設・敷地の管理運営上の課題等を解決するために、ホール舞台袖カメラ機器等の修繕、腐朽が進んだ樹木の伐採、コード化点字ブロック工事等、必要な修繕・工事を実施しました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	社会教育センターの維持管理は、指定管理者への指定管理料として、地域課へ予算を執行委任しました。施設の定期点検により指摘があった箇所や利用者の安全確保のために必要な箇所について予算の範囲内で修繕工事を行います。 令和7年度は予算内で執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	指定管理者とよく情報交換を行いながら、利用者が安全・安心かつ、快適に活動できるよう、施設の維持管理に努めるとともに、施設の利用率向上に努めます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	今後とも、指定管理者と緊密な連携を図りつつ、利用者の利便性の維持向上と安全・安心な施設運営に努めています。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	引き続き、指定管理者と緊密な連携をとりながら、適切な施設維持管理に努めます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	郷土博物館の維持管理					款 07	項 04	目 02	事業 002	整理番号	499
現担当課名	生涯学習推進課					係名 郷土博物館	連絡先 3317-0841	昨年度 整理番号	509		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度		分野 07	施策 25	計画事業						
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	施設維持管理				

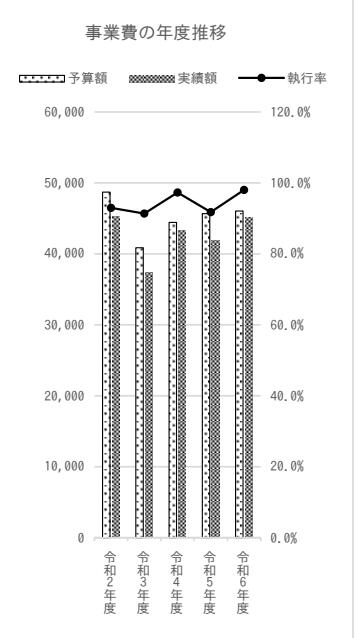
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 博物館法 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)  ○歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。  ○本館、分館、松ノ木遺跡、館外収蔵庫3か所の維持管理を行う。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績		-	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-	-	-	-
成果指標	計画		-	-	-	-	-	-
	実績		-	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-	-	-	-
分類	計画		-	-	-	-	-	-
	実績		-	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-	-	-	-
分類	計画		-	-	-	-	-	-
	実績		-	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-	-	-	-

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	48,704	40,863	44,435	45,669	46,041	51,218
	実績額	45,283	37,334	43,238	41,911	45,134	-	
人件費	執行率	93.0%	91.4%	97.3%	91.8%	98.0%	-	
	予算額	8,718	8,503	8,343	8,318	8,371	8,556	
	実績額	8,928	8,510	8,401	7,701	8,556	-	
上記以外の職員	執行率	102.4%	100.1%	100.7%	92.6%	102.2%	-	
	予算額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	-	
総事業費 (事業費+人件費)	執行率	-	-	-	-	-	-	
	予算額	57,422	49,366	52,778	53,987	54,412	59,774	
	実績額	54,211	45,844	51,639	49,612	53,690	-	
財源	執行率	94.4%	92.9%	97.8%	91.9%	98.7%	-	
	受益者負担分	予算額	40	40	41	33	29	57
	①	実績額	27	31	49	35	38	-
国・都からの補助金	執行率	67.5%	77.5%	119.5%	106.1%	131.0%	-	
	予算額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	-	
②	執行率	-	-	-	-	-	-	
	予算額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	-	
③	執行率	-	-	-	-	-	-	
	予算額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	-	
特定財源	予算額	40	40	41	33	29	57	
	実績額	27	31	49	35	38	-	
	執行率	67.5%	77.5%	119.5%	106.1%	131.0%	-	
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	57,382	49,326	52,737	53,954	54,383	59,717	
	実績額	54,184	45,813	51,590	49,577	53,652	-	
	執行率	94.4%	92.9%	97.8%	91.9%	98.7%	-	



## 特記事項

特記事項
------

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設の保守管理委託（電気機械設備等保守点検、清掃等建物管理、植栽管理）	2	所	31,168
	光熱水費の支出	2	所	9,063
	施設の維持管理（機器リース、消耗品管理等）	2	所	2,302
	施設の整備（一般修繕）	2	所	2,601
	その他（ )			0

取組成果	資料が適切な状態で保存・展示でき、利用者にとって安全かつ快適な環境となるよう、清掃業務、各種機器設備保守点検、燐蒸作業等を委託により実施しました。そのほか、防災設備点検での指摘事項の修繕対応や、本館・分館ともに経年劣化等による故障や不具合の修繕対応を行い、館の安定した維持運営に努めました。
------	---

## 課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k • A c t i o n)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	館の維持運営に不可欠な清掃業務、各種機械設備保守点検等を委託で実施しています。また、今年度予定していた本館・分館の防犯カメラ修繕を終え、鮮明な画像で館内の状況把握が可能となりました。年度後半では、本館隣地の公園造成に係る植栽撤去等整備、高木の剪定及び分館の昇降機修繕を実施する予定です。また緊急対応として枯損して倒木の恐れのある植栽の撤去を行ったほか、空冷式冷却水循環装置の2号機の部品不具合による修繕及び道路に張り出した高木の枝の剪定を行う予定です。8月末時点での予算執行率は約85.7%で、引き続き安定した館運営を行うため、各種整備・点検等を行っていきます。
事業の方向性・改善策	館の維持運営に不可欠な清掃業務、各種機械設備保守点検等を引き続き委託により実施するほか、収蔵庫として暫定活用している旧若杉小収蔵庫の収蔵資料を、次に収蔵庫として暫定活用する旧富士見丘小プール・特別教室棟へ、安全かつ確実に移転させ適正に保管できるようにするために、関係各課及び機関との調整等を行います。また、施設設備の老朽化等による修繕等に柔軟に対応し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境となるよう努めます。

## 令和8年度の方針 (A c t i o n)

I . 事業コストの方向性	拡充
I . 事業コストの方向性の理由	老朽化に伴う施設及び機器の修繕等や開館から36年が経過し成長した植栽への対応など、引き続き区民が安全で快適に利用できる施設となるよう適切に管理していくことが必要で、そのためのコスト増が見込まれます。また、収蔵庫として暫定活用している旧若杉小に保管している収蔵資料を、次に収蔵庫として暫定活用する予定の旧富士見丘小プール・特別教室棟で、収蔵資料が適正に保管できるよう施設整備を進めます。
II . 事業の改善の方向性	現状維持
II . 事業の改善の方向性の理由	築40年目を目指した長寿命化改修に向けて、関係各課と調整しながら検討を進める必要があります。

## 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	科学の拠点等の維持管理					款 07	項 04	目 02	事業 004	整理番号	501
現担当課名	生涯学習推進課					係名 管理係	連絡先 1662	昨年度 整理番号	511		
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業			
事業開始	令和2年度		分野 07	施策 25	計画事業						
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	施設維持管理				

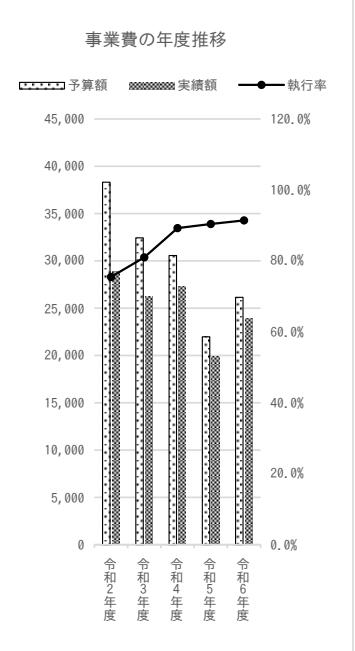
### 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区立施設再編整備計画 旧杉並第四小学校の団体開放に関する要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)  ○次世代型科学教育の新たな拠点等として貸し付けている物件の状態を良好に保つため、運営事業者との契約に基づき適切に管理する。 ○グラウンドは、高円寺学園の補完機能として、部活動や同校に登録する学校開放少年団体の活動場所として運営する。

### 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	計画										
	実績										
成果指標	達成率	○建物及びグラウンドの維持管理及び利用調整を行う。									
	計画										
	実績										
分類	達成率										
	計画										
	実績										
分類	達成率										
	計画										
	実績										
分類	達成率										

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	38,315	32,433	30,566	21,976	26,148	12,360
		実績額	28,917	26,266	27,276	19,865	23,901	-
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額	0	2,551	834	832	4,186	4,278
		実績額	3,656	2,503	1,664	1,172	4,278	-
		執行率	-	98.1%	199.5%	140.9%	102.2%	-
上記以外の職員	予算額	0	1,088	735	736	1,142	1,393	
		実績額	1,923	735	736	761	1,393	-
		執行率	-	67.6%	100.1%	103.4%	122.0%	-
(事業費+人件費)	予算額	38,315	36,072	32,135	23,544	31,476	18,031	
		実績額	34,496	29,504	29,676	21,798	29,572	-
		執行率	90.0%	81.8%	92.3%	92.6%	94.0%	-
財源	受益者負担分①	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
国・都からの補助金②	予算額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
その他の補助金等③	予算額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源①+②+③	予算額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源(総事業費-特定財源)	予算額	38,315	36,072	32,135	23,544	31,476	18,031	
		実績額	34,496	29,504	29,676	21,798	29,572	-
		執行率	90.0%	81.8%	92.3%	92.6%	94.0%	-



### 特記事項

事業費については、イマジナスの開業が令和5年10月であったことから、令和6年度は通常の建物維持管理費や保守経費等が必要となつたため、増となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	1	所	16,451
	光熱水費の支出	1	所	221
	施設維持管理経費の支出	1	所	7,229
	その他 ( )			0

取組成果	イマジナスの運営事業者に貸し付けている建物及び併設の高円寺子供園等の清掃、防災設備保守、電気設備保守等の建物総合管理を行いました。また、空調機や配管設備等建物の不具合箇所について、機能・性能を実用上支障のない状態に回復させるための修繕を行いました。
------	--

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	イマジナスの開設以降、グラウンド管理に加え併設の高円寺北子供園の設備保守点検等を含む建物の維持管理は予定通り執行しています。今年度は、イマジナスの救護室の空調機設置工事を予定しており、当該工事の着工に向け準備を進めています。このほか、劣化や故障等により不具合が発生した設備については必要な修理を行い、安全に施設利用ができるよう維持管理を行っています。
事業の方向性・改善策	本施設はイマジナスと高円寺北子供園の複合施設であることから、建物を一体的に管理する事業者と緊密に連携し、安心して利用できるよう、適切な維持管理に努めます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	関係者と緊密に連携するとともに、専門業者による適切な維持管理により、施設の安全安心に努めます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	現状、事業の目的や内容に変更がなく、適切に維持管理を行えているため、今後も同規模で実施します。